

# 日中友好新聞

## 府連通信

2013年2月号  
 日本中国友好協会大阪府連合会  
 〒530-0013  
 大阪市北区茶屋町10-6  
 阪急北ビル4階  
 TEL06-6372-8131  
 050-3413-6491  
 FAX06-6372-8132  
 郵便振替口座  
 00970-5-8978  
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp  
 ホームページ  
<http://www005.u.pp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

**きりえコンクール作品募集**  
 四月二二日が全国きりえコンクールの審査日です。幅広い方の応募をお待ちしています。

### 尖閣紛争の解決は共同利用しかない

二月十七日「中国はどこへ、日中関係のゆくえ」をテーマにパネルディスカッションが、大阪グリーン会館で百三十名を集めて開催されました。

加々美光行さんは、「尖閣諸島をめぐる日中間の紛争は棚上げ論をめぐる論争から拡大して、軍事紛争に入る危険もある。領土問題の解決は、少し時間はかかるが、共同利用する南極方式しかない。」中国側からの射撃管制レーダーの照射問題や、環境汚染問題など一時間を越える熱弁でした。

山本恒人さんは、「尖閣諸島をめぐる日中間の紛争は棚上げ論をめぐる論争から拡大して、軍事紛争に入る危険もある。領土問題の解決は、少し時間はかかるが、共同利用する南極方式しかない。」中国側からの射撃管制レーダーの照射問題や、環境汚染問題など一時間を越える熱弁でした。

加々美光行さんは三年前に左半身麻痺となり、少し話しくそうでしたが、ほとんど原稿も見ずにしつかりと報告され、質問にも答えておられました。開場三十分前から受付に並ぶ盛況で、主催者をあわてさせる場面もありました。テーブル席は満席、椅子席も会場いっぱいとな



### 日中問題のパネル討論は日中友好運動の新たなスター

開会三〇分前の開場を待ち切れずに、参加者が会場をほぼ埋めるといふ事態を久々に経験しました。百三十人を超える出席者の熱気にあふれ、早退ゼロ、居眠りや私語はほとんどなしの、爽やかで緊張感のある集会となりました。

いま日中関係は、政治・経済・外交・国民感情等々すべてが冷え込み、最悪の緊張・対立関係



満・不安・不信が極度に高まり、その矛先が現行の憲法体制批判や、中国に対する排外主義に向い易い状況にあること、それを煽るマスメディアの無責任な報道姿勢にも問題があることは明かです。しかし同時に、中国の側にも、それを許す原因や実態の進行があるのではないかと。その正味の実態を知りたい。今後の展望はどうなのか。

あんな輝かしい中国革命の栄光は、その後どのように維持発展させられ、あるいは、変貌・変質させられているのか。とにかく、その実態と真実を知りたい。私自身もそうですが、多くの心ある人々が同じ思いを秘めて、適切な機会を待ち望んでいたこと、そのことが、今回の参加者の熱心な反応から痛感させられました。今回は、日中友好協会大阪府連合会の、それに応える第一歩です。

**春の中国語講座へどうぞ**  
 阪急梅田駅茶屋町出口から徒歩1分、発音の基本から文法、日常会話の完成をめざす、親切丁寧な授業が特徴です。途中入学もOKです。  
**4/1~9/14 週一回・2時間授業・20回**  
**初心者から上級まで20数クラス有ります**  
**入学金：18,000円、受講料：48,000円**

**中国語・無料入門レッスン**  
 ① 3月25日(月) 10:00~11:30  
 ② 午後6:30~8:00  
 ③ 3月30日(土) 10:00~11:30  
**入門レッスン会場：日中友好協会教室**  
 初心者の方を対象にしています。参加費無料  
**連絡先：大阪府連06-6372-8131**

# 加々美発言 三つのポイント

## ① 棚上げ論は依然として貴重な交渉ベース

領土問題に対して、中国側は「棚上げ論」の立場を保持し、現時点でもこれがベースにあるのに対して、日本の前政権、現政権、外務省は周恩来・田中角栄および鄧小平・福田赳夫会談での「棚上げ論」は中国側の一方的提起に過ぎない、という立場を固持している。

この流れで、中国は尖閣諸島と海域の「共同開発」、「共同管理」の提起（「管控」という新概念の登場・・・管理し、統御する）を強めている。

中国の政権の動向は、ロシアのメドベージェフによる、2012年の国後上陸や李明博の竹島上陸に見られるような、排他主義的国家主義とは相対的に区別を要する。

## ② 軍タカ派と政権中枢とのギリギリのところでせめぎ合い

中国側の民間人による強硬事件、とくに香港活動家による2012年八月の強硬上陸・強制送還事件があたかも中国政権の意図を体したものと観測があ



加々美 光行 (東京大学名誉教授) 山本 恒人 (大阪経済大学教授) 渡辺 武 (元防衛省参事)

和平・妥協・譲歩策に対する批判的発展からも分かるように、天安門事件から二十三年を経て、圧活動家の行倒的に「国家主義」の壁を越え動支持」が、世界の情勢を瞬時に把握す

提案された。

中央軍事委員十二名の評決が行われ、賛成十名、棄権二名（胡主席、習副主席）で、全員一致の慣行により採決には至らなかった。中立の立場を取った胡錦濤もこの席では「棚上げ論」がこの十年間で時代遅れになったことを認めざるをえなかった。

それでも2012年九月のAPEC時に、野田前首相に対して、これ以上の事態悪化を防ぐために「国有化だけはやめてもらいたい」と説得を続けたのである。

## ③ 「国際的」紛争を「民際的」に

### 解決する可能性

中国では、「党の民衆からの乖離」が広がっている。経済格差、環境汚染、強制土地収用などへの民衆の異議申し立ては渦を巻いている。一部民衆の自尊心に緊急開催された。そこでは、「釣魚島の事態の悪化について」を議題に緊急開催された。そこでは、「釣魚島と周辺海域の領土宣言、軍による防衛任務の実施、対日縁ではない。

る能力を持つており、同時に世界に向けて自己の意思を発信する力量を持つに至っている。対米、対日、対東アジアとの「国際的」紛争を「民際的」に解決する道が可能になりつつある。

### 四月開講の太極拳教室

① 大阪府連教室 4/1 (月) 18:30~  
なんば体育館/ヤマト卓球センター

② 西支部教室 4/4 (木) 18:30~  
阪急中津駅前 北スポーツセンター

③ 守口支部は4か所で開催しています  
連絡先: 大阪府連06-6372-8131

## 守口で新春初けい

## 一四式基礎練習会

守口支部主催の太極拳新春初けいこが一月十四日(成人の日)に守口市民体育館で開催され、十一教室から七六人の参加で行われました。

二月十七日、午後に関われるパネルディスカッションにあわせて、太極拳の基礎練習を、二十四式の型を使って、恒岡老師の指導でみっちり練習しました。

五歩拳で身体をほぐした後、二四式、四八式、四二式太極拳に分かれて熱心に練習し、参加者の熱気で汗ばむほどでした。

会場のホールが狭く感じられるぐらいでした。午後後の集会へは二十二名が参加しました。

